

災害の経験から加入を決意

年間を通して野菜50品目を栽培しています。栽培するに当たり、お客さまや食べてくれる家族の健康を考え、農薬を使わないよう心掛けています。

収入保険には、2018年の西日本豪雨で被害を受けたことをきっかけに、制度が開始された当初から加入しています。

私の畑は山の近くにあり、豪雨の影響で山が崩れ、粘土状の土砂が120トほど流れてきました。その土砂が水路をふさぎ、雨水があふれて、畑は水浸しになりました。

硬くなった土砂の撤去は大変で、妻の友人や業者の力を借りても2週間ほどかかりました。撤去作業に手が取られて、無事だった畑の農作業が滞り、収入が減少しました。

この経験から、収入保険に加入することを決めました。万が一の備えとして保険に入っておくことは必要だと思います。

収入保険に加入して災害に備えながら、「おいしい」と喜んでくださるお客さまのためにも、新鮮で体に優しいものを届けていきたいです。

▷野菜50品目21品(ホウレンソウ、シュンギク、ナスなど)



広島市 柳岡 仁さん (69歳)

(農業共済新聞 中国版 2021年7月2週号より)